



ロシア・ウクライナ、南大洋海洋保護への世界の努力を再び阻害

2013年11月1日ホバート — 南極海連盟（以下、AOA）のメンバーによれば、「南極の海洋生物保存に関する委員会」（以下、CCAMLR）は、ホバートで開催された年次総会において、ロシアとウクライナが海洋保護区提案に再び反対したことにより、南極の海洋生息地を保護するための歴史的機会を逸し、委員会の海洋生物保存の責任を果たす能力に疑問符が投げかけられた。

CCAMLRを構成する24か国およびEUは、ロス海と南極東岸海域保護のための2つの提案を議題に上げたが、7月にドイツで開催された特別会合の際と同様に、ロシアとウクライナが2つの提案に強く反対し、また、中国は南極東岸海域保護に関する提案の支持を撤回した。

南極南大洋連合（ASOC）理事のジム・バーンズ氏は、「CCAMLRのほとんどの参加国が意味のある海洋保護区設置に向けて前進する準備ができていたが、残念ながら、ロシアとウクライナは再び、成果を得るための努力をすべて無駄にした」「我々は、米国、ニュージーランド、オーストラリア、EUおよびフランスが過去3年間、南極の海洋保護提案を前進させるために尽力したことに拍手を送りたい」と語った。

AOA キャンペーン・ディレクターのスティーブ・キャンベル氏は、「今年の年次総会で再び期待外れの結果となったことにより、CCAMLRが海洋生物保存のための責務を果たせるのかどうかという問題について、非常に強い疑いがかけられることとなった」「CCAMLRは別の年に再び会合を開くことはないだろう。海洋保護区設置を決めることができない各会合は、CCAMLRがその重要な責務を果たすことができるという期待を縮小することになるからだ」と語った。

グリーンピース・インターナショナルの海洋キャンペーン担当ファラー・オバイドゥラー氏は、「我々が過去数年間見てきたものは、地球に残された最後の無傷の生態系を守るというCCAMLRの精神と責任の低下である」「今年の失敗は、CCAMLRの評価を傷つけ、団結した経済・政治的利益が将来世代のための海洋保護のいかなる努力よりも優先されるというグローバルな危険な傾向を示したことであり」と語った。

FoE Japanの小野寺ゆうり氏は、「南大洋における漁業利益を有するアジアの多くの国々が南極海における海洋保護区の設置を支持してきたのに、合意に至ることができなかったCCAMLRを再び去らなければならないことは非常に残念である」「すべての国々は、我々の共同未来における健全な海洋を確かなものにするため、大規模な海洋保護の重要性を理解する必要がある」と語った。

ピュー・チャリタブル・トラストの南大洋保護区域プロジェクトディレクターのアンドレア・カバナー氏は、「南極海だけではなく、世界の海洋にとって暗い一日である」「今回は、地球の最も汚れていない海を守るための国際コミュニティの三度目の挑戦だったが、自己利益が再び妨げとなってしまった。これらの保護区を設置するための科学的根拠というのは圧倒的である。手に負えない自己利益によって、世界中の大多数の国々の意思を拒否するというのは許されるべきではない」と語った。

CCAMLR が可決できなかった 2 つの海洋保護区の提案とは、米国とニュージーランドによって提出されたロス海に 1.32 百万 km² (1.25 百万 km² を禁漁区を含む) の保護区を設置する案と、オーストラリア、フランスおよび EU によって提出された南極東岸海域に 1.6 百万 km² の海洋保護区ネットワークを設置し、将来漁業を行う際には合意を要するものとする案であった。

南大洋は、世界中のほとんどのペンギン、クジラ、海鳥、ダイオウホウズキイカ、珍しいライギョダマシを含む、1 万を超える固有種の生息地であり、その地域の主要漁場でもある。南大洋は、無傷の海洋生態系がどのように機能しているかを研究するため、また、地球の気候変動の影響を判断するための科学調査を実施する上で重要な地域である。

過去 3 年間で、世界中の 130 万人を超える人々が南極における大規模な海洋保護に関する国際的呼びかけに賛同している。また、数千人は、オンライン署名やソーシャルメディアや世界の重要なリーダー宛の E メールを通じて、保護を求めるための行動を実行している。

AOA メンバー団体は、CCAMLR が海洋資源保存の責務を果たすことを確実にするため、南大洋の海洋保護区設立に失敗した国々に働きかけ続け、2014 年の次回の CCAMLR 会合に出席する。AOA は南大洋の約 40% が保護を必要としていることを明らかにしている。

英語版プレスリリース本文はこちら

<http://antarcticocean.org/2013/11/russia-ukraine-again-block-global-efforts-for-southern-ocean-marine-protection/> (pdf・英語)

関連情報 : www.antarcticocean.org, www.pewenvironment.org/SouthernOcean

Facebook : <https://www.facebook.com/pages/Antarctic-Ocean-Alliance/233933866663875?fref=ts>

Twitter : #Antarcticocean、 #JointheWatch

南極海連盟 (AOA) とは : 俳優であり米国生物多様性大使のエドワード・ノートン氏、俳優のレオナルド・ディカプリオ氏、海洋学者のシルビア・アール博士、起業家のリチャード・ブランソン氏といった高名な個人や 30 の環境団体によって構成されている。構成する環境団体は、下記のとおりである。

Pew Charitable Trusts、Greenpeace、WWF、Humane Society International、南極南大洋連合 (ASOC)、the Blue Marine Foundation (英国)、Mission Blue (米国)、Oceans 5 (米国)、Deep Wave (ドイツ)、The Last Ocean、Forest & Bird (ニュージーランド)、ECO (ニュージーランド)。そして、協力パートナーは、the Natural Resources Defense Council (NRDC) the Korean Federation for Environmental Movement (KFEM) Greenovation Hub (中国)、Oceana、the International Fund for Animal Welfare (IFAW)、Ocean Planet (オーストラリア) である。